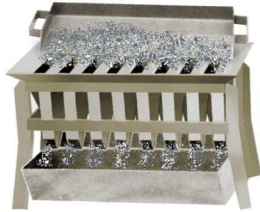


粗骨材の密度および吸水率試験 (JIS A 1110)

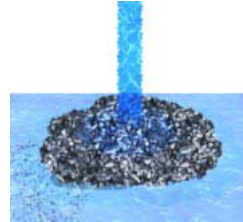
密度試験

1 .



粗骨材試料を、最大寸法(mm表示)の0.1倍をキログラムに表示した量まで分級する。

2 .



試料を水で十分に洗い、微粒分を洗い流す。

3 .



水洗いした試料を、 20 ± 5 の水中に24時間漬けて吸水させる。

4 .



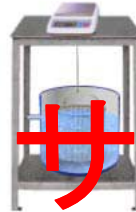
試料をかごの中に入れ、かごを水中につるしての水中質量(見掛けの質量)を量る。 m_2

5 .



試料をかごから取り出し、乾いた布で目に見える水膜を拭いて、表面乾燥状態にして質量を量る。 m_1

6 .



金網かごの水中質量を量る。 m_3

サンプル

吸水率試験

1 .



吸水率試験用試料 m_1' を 105 ± 5 で24時間乾燥する。

2 .



室温になるまで冷やす。

3 .



乾燥後の試料の質量を0.1gまで量る。 m_4

G - 1	粗骨材の密度および吸水率 ()		JIS A 1110	
実 施 日	年 月 日 曜日 天候			
温 度・湿 度	室 温	湿 度	水 槽 の 水 温	乾 燥 機 の 温 度
	()	(%)	()	()
実 験 番 号		1	2	(3)
1 風袋の記号 (小型のホーロー・バット)				
(2) 風袋の質量 (目盛を 0 しておけば不要) (g)				
(3) 風袋) + (表乾試料) (g)				
4 表乾試料空中質量 (約 1kg) m_1 (g)				
(5) カゴの水中質量 m_3 (g)		目盛を 0 にしておけば不要		
(6) (試料) + (カゴ) 水中質量 m_2 (g)				
7 試料水中質量 W_{W1} (g)				
8 絶対容積 ($m_1 - W_{W1}$) (ml)				
9 密度の計算 (/)				
10 平均値				
11 精度の判定 (平均値 ± 0.01 以内) (○で囲む)		可 不可		
12 表乾密度 D_s		(小数点以下 2 桁に丸める)		

(): 以下は吸水率の試験。 の試料は とは別に取ったが良い。

実 験 番 号	4	5	(6)
13 容器の記号 (小型ホーローバット)			
14 容器の質量 (g)			
15 (容器) + (試料) (g)			
16 表乾試料質量 m_4 (g)			

[以下の試験は、24 時間以上経ってから行う]

17 絶乾質量測定日 (月・日)	.	.	.
18 (容器) + (試料) (g)			
19 絶乾質量 m_5 (g)			
20 吸水率の計算 (%)			
21 精度の判定 (平均値 ± 0.03 以内) (○で囲む)	可 不可		
22 吸水率 Q (%)	(小数点以下 2 桁に丸める)		
23 絶乾密度 D_D	(小数点以下 2 桁に丸める)		

(): 試料が網目から落ちないように、粒径 5mm 篩に残るものを試料とする。

(): 表乾時の骨材は、表面は白くなく、くすんだ色で部分的な輝きもない。

(): 水の粘性を考え、水中での計量時には指針が一定値を示すまで時間をかけてゆっくりと待たねばならない。

(): の容器はホーロー製のバットを用いる。ホーロー・バットは薄い鉄板の上にガラス質の釉薬を焼き付けたものである。たたくと割れる。